



事例紹介



中部国際空港株式会社



中部国際空港株式会社

愛知県常滑市の中部国際空港(株)は空港の枠を超えてコトを起こし続け「次の未来へ」進化し続けます。



省エネ・再エネ利活用・CE※1 全方位でのCN※2化



CN取組の内容

● セントレア プラスチック・スマート宣言

- ・プラスチック製レジ袋の廃止
- ・レジ袋やカトラリー等のバイオマス原料へ転換
- ・ペットボトルの水平リサイクル



● CO2排出量の削減

- ・コージェネレーションシステム（CGS）の入れ替えによってエネルギー利用を更に高効率化します。
- ・駐機中の航空機への電気・冷暖房を太陽光パネル、CGSからGPUを通じて供給しています。

● 水素エネルギーの産業車両への利活用促進

- ・2019年3月に乗用車・バス向け水素ステーションを開所しました。
- ・グリーン水素を利用した燃料電池フォークリフトを貨物地区の業務に使用しています。



貨物地区水素充填所

ここがポイント

国内初

空港施設でのペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）



サントリーホールディングス(株)と協栄産業(株)との連携により空港から排出されたペットボトルの水平リサイクルスキームを確立しました。また、常滑市とも連携し同市から排出されるペットボトルも一緒にリサイクルしています。

空港・自治体・飲料メーカー、三者共同の水平リサイクルは国内初の取組です。

セントレア・ゼロカーボン2050を宣言

2021年5月にSDGsの取組を推進し、2050年までに空港の地上施設からのCO2排出の実質ゼロを目指す「セントレア・ゼロカーボン2050」宣言を表明しました。2022年3月に豊田通商とのパートナーシップを締結するなど、企業間連携も強化し、空港のゼロカーボンへの取組を更に推進していきます。

再生可能エネルギーの拠点化へ

稼働中の第1ターミナルビルの太陽光発電システムだけでなく、未利用屋根などへの導入拡大や地域との連携を進め、再生可能エネルギーの拠点化を目指します。

※1) CE・・・Circular Economyの頭文字を取った言葉。日本語訳で「循環経済」。あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じ、付加価値の最大化を図る経済。

※2) CN・・・Carbon Neutralityの頭文字を取った言葉。「カーボンニュートラル」。